

和地ひとみレポート No.268

平成30年第1回市議会定例会がスタート

多くの議案、陳情、そして市長の施政方針表明も



■第1回市議会定例会

…2月22日より平成30年第1回市議会定例会が始まりました。毎年、第1回定例会では来年度（平成30年度）の市政運営に対する「市長施政方針」も表明され、また、その施政方針に含まれた事業をどのように進めるかのベースとなる予算案も議案として提出されます。

…市長による施政方針表明は会期初日の本会議で行われ、その方針内容に対しては、今後、各党派からの代表質問も行われ、また、来年度予算をより丁寧に審議するための「予算特別委員会」も会期中に開催されます。年間4回開催される市議会定例会は、どれも重要なものですが、中でも第1回定例会は来年度の方向性を審議する内容が多く、ボリュームも重要性も高い定例会と言え、会期も3月16日までと長い設定となっています。

■多くの議案などを審議

…また、今定例会では2件の報告、2件の諮問のほか、36件の議案が提出されました。

◇報告事項

①東大和市土地開発公社の経営状況について
（市が開発や道路を作るなどのための土地の取得や、市の土地の売却などを行う公社。平成30年度は土地の取得も売却も予定なし）

②庁用自動車の物損事故による損害賠償についての報告
（駐車場内での衝突事故¥273,839：共済金で賄うため市の支出はなし）

◇承認事項

・人権擁護委員の候補者の推薦について2件⇒承認

…提出された36件の議案のうち、6件は来年度予算案のため、予算特別委員会で審議が行われます。その他は、今年度の補正予算（6件）、条例の一部改正（21件）、市道路線の廃止（1件）、新規条例（1件）、規約の変更（1件）となっています。

…条例の一部改正の多くは、国の法律の制定や改正に合わせ、市の条例の見直しを行うというものが多いたが実情。しかし、新規条例についてはその限りではないため、東大和市議会では新規条例案については、所管する市議会常任委員会で審議を行ったうえで、本会議で最終的な議決を行うこととなっています。また、例外として条例の一部改正の場合でも市民生活や市政に大きな影響のある（≒税金などの値上げが含まれるなど）ものについては、新規条例と同じく所管する市議会常任委員会で審議をすることを基本としています。その他、市道路線関係については、どの案件も所管する市議会建設環境委員会で現地確認をしたうえで議決を行います。

…今回提出された条例関係の議案で、委員会に審議を付託されたものは、以下の通りです。

◇委員会に付託された議案：付託先は厚生文教委員会

①東大和市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準に関する条例

（平成26年6月に公布された「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」にもとづき、介護保険法が改正され、平成30年4月から、これまでの東京都の条例で定められていた指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準について、市が条例で定めることになった（＝都から市に委譲されることになった）ことを受けた新規条例案。条例を定めるにあたって市は、東京都の条例を参考にしたが、厚生労働省令に従わなければならない項目と参酌して市独自の基準を定められる項目とがあるため、参酌できる項目については独自の内容も織り込んだ。今回の条例案では東大和市は独自に「基本方針」の中での事業者について『暴力団関係者、またはこれらの利益となる行動を行っている者でないこと』という文言を追加。また、「記録の整備」についても厚生労働省令が2年間としているところを東大和市は5年間とすると規定。）

②東大和市の介護保険条例の一部を改正する条例

（平成30年度～32年度を期間とした介護保険事業計画の策定及び介護保険法施行令と施行規則の改正に伴っての条例の一部改正。値上げを含む内容。）

③東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

（平成30年度からの国民健康保険の制度改革により、都道府県と市町村がともに国民健康保険を運営すること（広域化）に伴い、地方税法が改正された。市では今後の国民健康保険の財政状況の試算から、改定案を作成し、市の国民健康保険運営協議会に諮問。その答申を受けての条例改正案。）

■陳情も

…今定例会には陳情も13件と多く提出されており、それぞれの陳情も、その内容に伴い、所管する市議会常任委員会で審査され、その審査結果を踏まえたうえで本会議で最終的に議決されます。

…今回、多く出された陳情の中でも件数が多かったのは国民健康保険税の改定に関するもので、その件数は11件。内容は「値上げを行わないように求めるもの」と「値上げを凍結して、十分な市民説明を尽くすよう求めるもの」と大きく2つに分類できます。そのほかの陳情は「登録有形文化財旧吉岡家受託に関する陳情（予定している駐車場整備の場所について慎重な対応を求めるもの）」と「小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設に関する陳情」です。

（裏面に続く）

…13 件の陳情のうち、「小平・村山・大和衛生組合資源物中間処理施設に関する陳情」は建設環境委員会に審査を付託。国民健康保険税関連の陳情 11 件と吉岡家に関する陳情 1 件は厚生文教委員会に審査が付託されました。…東大和市議会では、陳情提出者が希望すれば、委員会開催前に付託された常任委員会の委員長、副委員長との面談ができ、直接、陳情について話をすることが可能です。各委員会では陳情を審査する際、市の現状などを確認したうえで審議を行い、最終的な審査結果を導くこととなります。

■平成 30 年度 市長施政方針は

…前述のとおり、今定例会の初日の本会議では「平成 30 年度 市長施政方針」が表明されました。およそ 50 分間のその内容については、今後、市報でも公表されると思いますが、現在は、市のホームページで全内容を閲覧することが可能です。

…施政方針の内容は、本会議では市長の表明を聞くだけではなく、議員と議会に傍聴に訪れた方に対し、施政方針が書かれたペーパーが配布されます。

私は、毎年、その施政方針の内容を確認して、予算、決算の内容をチェックするとともに、施政方針の中で示された重要施策、主な施策、市長の認識する社会情勢や課題については、単年度で検証するだけではなく、前年度との比較などを行い、経年で確認しています。

…今回表明された「平成 30 年度の施政方針」については、新たな事業も含まれていましたが、全体的な印象としては、昨年度と同様の内容が多いということ。もちろん、数年間をかけて取り組む施策は多いので、同じ取組を継続して行うことは悪いことではありません。しかし、同じ事業を継続するうえで、今までの取組を受けて平成 30 年度はどこまで進めるのかといったことも方針としては示していただきたいと思いました。そうでなければ、その取組についてのイメージも持てず、平成 30 年度の 1 年間で東大和市がどのように変化（発展、向上）するのかが伝わってこないと思いました。

…また、今回の市長の施政方針表明で気になったのは、『熱』が伝わってこなかったこと。尾崎市長も前期を含めれば市長に就任されて 7 年となり、施政方針表明についても、だいぶ慣れてきたのだと思います。しかし、東大和市のトップとして、市の行財政運営をけん引するのですから、一市民としては、市長の思いを感じる『熱』のようなものを感じたかったと思いました。パフォーマンスのような大仰なものは不要ですが、年に 1 度の施政方針の表明については、常に初心のような心持で、力強く行ってほしいと思います。

…今回の施政方針に対する代表質問の内容や、前述の議案、陳情などの審議結果についても、今後、レポートでお伝えしていきたいと思っています。

東大和芋窪緑地がトトロの森 47 号地に

…以前のこのレポート (No.42) でもお伝えしましたが、宗教法人より墓地建設計画が申請され、住民反対運動に発展していた芋窪緑地。

以前は、墓地等の経営については都道府県知事が経営許可権者でしたが、平成 24 度からは地域主権の観点により許可権者が市長に移管されました。よって、この申請に対しては市が対応していましたが、慎重な姿勢をとっていたため、計画には進展はありませんでした。しかし、この度「公益財団法人 トトロのふるさと基金」が対象となる土地を取得。トトロの森 47 号として管理してくださることとなりました。

…「公益財団法人 トトロのふるさと基金」は、トトロのふるさとを守ろうという、いくつもの市民団体が力を合わせて誕生した団体です。この団体が取得、管理する東大和市内のトトロの森は 2 つ目となります。

…東大和市の魅力の一つは、狭山丘陵の自然が残されていること。今回のこの財団の対応は、東大和市にとっては感謝すべきことと言えます。今後も、行政と市民活動の様々な形の協働で、東大和市の自然、魅力を守ってほしいと思います。

【公益財団法人 トトロのふるさと基金がこの土地を取得した理由と今後の予定】 ※公益財団法人 トトロのふるさと基金の HP より
2003 年から 2004 年にかけて、宅地開発業者がこの土地を買収し、2008 年に開発許可を取得しました。ここは狭山丘陵の東京都側に残された貴重な緑地であることから、私たちは計画の中止と緑地保全を要望し、土地の譲渡を求めて価格交渉を行ってきました。その後、業者は事実上倒産し、代わりに宗教法人による墓地開発計画が 2012 年に明らかになりました。住宅地に隣接する 1,500 区画の大規模墓地を作る計画であることから、地元で反対運動が展開され、東大和市議会では計画中止を求める陳情が趣旨採択されていました。

<これからの予定>

現況の植物等の調査を行い、その結果を踏まえた管理方針を策定したうえで、ボランティアの皆さんの協力を得て、保全の取り組みを進めていきます。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

【プロフィール】

1970 年 東京都北区生まれ。父の転勤で 1 歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を 2 年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。/「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク (※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経 WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。/『人を活かす』経営を学ぶため一念発起シカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在 2 期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■ 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP : <http://www.wachi1103.jp>
✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
〒207-0005 東大和市高木 3-274-2-102

